

授業科目 基礎看護学概論	区分・教育内容		
	専門分野 I 基礎看護学		
授業担当者 佐藤 聡美 (副学院長)	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
<b>授業の目的</b> 看護師を目指す者にとって基盤となる「看護とは何か」「看護が果たす役割はなにか」について学び、考えを深める。			
<b>授業の目標</b> 1. 看護の概念・機能・役割がわかる。 2. 看護の対象である人間の行動様式や心理を理解し、生活者としての人間理解を深める。 3. 看護者としての倫理を理解する。			
<b>授業概要</b> 入学したての学生の看護に対するイメージは漠然としている。そこで、看護が実際にどのような役割、責任を担っているのかを理解し、これから看護学を学ぶものとして心構えを築く授業としたい。また、看護理論と実践の関係について学ぶことで、看護学の奥深さを感じてほしい。			
<b>授業計画(進め方)</b> 1 回目 導入：看護学を学ぶということ 看護の変遷 看護職とは ※レポート課題提示「看護の基本となるもの」 2～5 回目 第 1 章：看護の定義 看護理論 ・ナイチンゲール・ウィーデンバック・ベナー・オレム・ロイ ・オーランド・トラベルビー・ペプロウ・ゴードン 6 回目 課題レポートを元にしたグループワーク：ヘンダーソンの看護論 ※課題レポートの修正・最終提出 7 回目 第 1 章：看護の役割と機能 8 回目 第 1 章：継続性と情報共有 9 回目 第 2 章：看護の対象の理解 「こころ」と「からだ」 10 回目 第 2 章：看護の対象の理解 「発達」と「生活」 11 回目 第 3 章：国民の健康のとらえ方と状態 12 回目 第 3 章：国民の健康に関する統計 13～14 回目 第 5 章：看護の倫理 15 回目 第 4 章：看護教育			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 I 看護学概論 医学書院 ヴァージニア・ヘンダーソン著 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 城ヶ端初子監修 看護実践に生かす看護理論 19 サイオ出版			
<b>参考書・指定図書</b> 公衆衛生が見える 2018-2019 第 3 版 メディックメディア ※基礎分野「生活と健康」のテキスト			
<b>評価の方法</b> 講義終了後の筆記試験 70 点と課題レポート 30 点の合計点で評価する。			

